

田中克周 議員

ラグビーW杯を

市のスポーツ振興に

**問** スポーツの拠点であるエコパでのラグビーW杯開催は、本市のスポーツ振興に大きく寄与するとともに、袋井市を強力にアピールする絶好の機会である。市民の関心をどのように高め、市全体を盛り上げていく考えなのか。

**答** ラグビーは、競技人口が少なく、しかもルールが複雑であるため、まずは試合を観戦することでラグビーのルールや楽しさ、迫力を知ってもらい、認知度を上げていきたい。そして、エコパやヤマハスタジアムでのトップリーグの試合観戦を、積極的にPRしていきたい。また、県と本市は県ラグビー協会、ヤマハ発動機及び掛川市等の関係5市による「静岡県連絡会」を定期的に開催し、W杯開催の機運の醸成と普及・啓発について、情報共有と事業計画等の協議を進めている。



ラグビーW杯の開催会場 エコパスタジアム

18歳投票制に伴い

主権者教育の必要性は

**問** 選挙権年齢の引き下げを機に、将来の有権者としての意識を高める主権者教育を、小中学生の段階から取り組むべきと考えますが、ごうか。

**答** 授業や活動の中で子供同士で議論・討論したり、また、選挙出前講座での模擬投票を活用したりする中で、主権者教育を進めていきたい。

秋田稔 議員

農業振興の取り組み状況は

**問** 農業振興ビジョン(前期5年間)を振り返り、優先的に取り組む重点対策の達成度は。

**答** 認定農業者数や耕作放棄地面積では目標を達成できなかったが、農地の利用集積化面積などは目標を達成した。後期5年計画では、単年度ごとに新事業を組み入れるなどの手法で農業を推進したい。

耕作放棄地の解消策は

**問** 中間管理機構が耕作放棄地を集積し耕作者に貸し付けるには、どう進めていくか。

**答** 貸し手の掘り起こしのために、農協や中間管理機構と連携していきたい。また、利用権設定の手続きを簡素化するよう県や機構に要望していきたい。

茶業界の抱える

諸課題の取り組みは

**問** 県や市の基幹作物である茶の将来が危惧されている。袋井市独自の支援策を伺う。

**答** 県や農協と連携して販路拡大や良質茶生産、複合経営などの取り組みへの支援に力を入れるとともに、茶業の生産性向上を目指し、生産者のニーズに对应られる市独自の支援策を検討していきたい。



笠原地区の茶畑